



九町診療所の完成と開業、新国道の工事や関連道路の整備が進むなど伸びゆく九町地区。



発行所 町 伊方
愛媛県西予郡伊方町藤通
〒796-03 伊方局8-0211
編集 課 務 課
印刷所 社
豊 豊
八幡浜市松栢 22-0144



明けましておめでとうございます。町内の皆様をはじめ、町外で活躍の皆様も、ご家族らん、希望に満ちた新春をお迎えのこと、況申し上げます。昨年は、二期目の町政を担当させていただきました。町政各般にわたり格別のご理解とご支援をたまわり、心からお礼申し上げます。お陰をもちまして、生活環境の整備や教育施設の整備充実、農漁業振興などの諸事業



町長 福田直吉

活気に満ちた町づくり

地元の皆さんを中心に要望がありました。町では設置場所の検討を進める一方、地元医師会の指導助言をいただきながら早期完成を目指してまいりました。すでに四月の開業から八ヶ月、一日平均四十人あまりの方が診療に訪れています。今後この施設が町見地区の医療の拠点として、地域福祉の向上に寄与するものと期待しています。また、二月には、三号機増設受け入れに際してお約束いたした効率的な財政運営に努めなければならぬ時期と考えます。私は今年、地区自治活動促進制度の継続と南予用水事業の推進、教育施設の整備に全力を傾注し「活気に満ちた町づくり」に努めます。

も順調に進んでおります。特に昨年は、町見地区に於いて懸案でありました九町診療所の完成と開業、地区自治活動促進制度の発足実施、灘地区畑地かんがい事業の本格工事着手など、町民生活の向上に直結した重要案件の実現に取り組んで参りました。中でも九町診療所は、町見地区にとって待望の医療施設であります。この施設は、早くから



議長 高野 遠

行政水準の向上に努力

和のもと過去数十年、経済の高成長を基軸に西欧なみの高福祉政策を続けました結果、物質的な豊かさは先進文明国の上位に列することとなりました。しかしながら、現下の社会情勢は経済成長率の鈍化が言われて久しく、国の借金、いわゆる国債解消をねがうとする国家財政再建の方針もあって、全国の大多数の市町村は歳入面で苦悩しております。

に満ちた年でありませう心から祈念いたします。旧年中は、議会の運営に対し、格別なるご高配を賜わり、厚く感謝申し上げます。願いますと我が国は、民衆平

勢は経済成長率の鈍化が言われて久しく、国の借金、いわゆる国債解消をねがうとする国家財政再建の方針もあって、全国の大多数の市町村は歳入面で苦悩しております。こうした中で、本町は国の電

新春の
およろこびを
申し上げます

- 〔役 場〕
- 町長 福田直吉
 - 助 役 山口和哉
 - 収入 役 西田恵明
 - 総務 課長 榎田佳明
 - 税務 課長 榎田信夫
 - 福祉 課長 山下和彦
 - 住民 課長 阿部喜光
 - 建設 課長 市尾隆志
 - 産業 課長 大森次郎
 - 生活 環境課長
- 〔区 長〕
- 大 浜 木戸俊憲
 - 中之 浜 藤井静夫
 - 河内 松田初秋
 - 湊 浦 一 佐竹英信
 - 小 浦 大 本福太郎
 - 伊方 越 神野照雄
 - 川 浦 窪田亀春
 - 中 水田 一 藤沢英春
 - 水 道課長 鎌土勝利
 - 農業 委員 会事務局長 松田忠一
 - 職員 一 同
- 〔教育委員会〕
- 委員 長 栗田龍彦
 - 教育 長 浜口 旭
 - 教育 次長 兼 総務 学校 教育 課長 菊池和彦
 - 社会 教育 課長 岡元幸雄
 - 兼 中央 公民 館 長
- 〔町議会議員〕
- (議長) 高野 遠
 - 辻 忠義
 - 梶 田 忠義
 - 重 岡 雅 樹
 - 井 上 鶴 敏
 - 福 田 弘
 - 松 本 龜 明
 - 竹 内 藤 雄
 - 菊 池 伝 治
- 給食センター所長 兵頭 定
- 委員・職員一同
- 黒田 股 栄
竹 場 淳
小 泉 久
安 部 安
丸 山 栄 一
吉 川 治 吉
田 中 康 司
浜 本 浩
高 初 彦
田 中 発

歳時記

御用始め

通勤電車の中に、和服姿の女性が華やかないろどりを添えるのが御用始め。戦前は、御用始めにモーニングなど礼服で出勤する風習があったようですが、今は女性の晴れ着姿が目立ちます。

といっても、これは都心部での光景。本町などでは晴れ着姿の出勤はほとんどなく、服装の変化もあまり見られないようです。制服が普及したことが影響しているのかも知れません。

官庁をはじめ、ほとんどの会社が1月4日を御用始めとしています。もっとも、昔の農家や職人が御用始め・仕事始めとしていたのは1月2日です。この日、大工はカンナをとぎ、木こりはノコギリの目立てをし、農家ではワラを一束だけ作ったりしました。

ところで、1月といえ、15日は成人の日。大人の仲間入りをする皆さんを祝います日です。成人になった記念に献血をということで、1月9日から3月8日まで「はたちの献血」キャンペーン(主催・(社)日本民間放送連盟、後援・厚生省ほか)が行われます。

このキャンペーンは今年で8回目。1回目よきの献血は200ccのびんで65万本でしたが、昨年の第7回では123万本と倍近くになっています。

期間中は全国各地を献血車がフル回転します。冬は献血する人が少なくなるシーズンでもあります。ぜひご協力ください。

ちなみに、昨年本町で行われた献血回数は2回。延456人のかたがたにご協力いただきました。ありがとうございました。



大分県別府市南立石一區 一―一五にお住いの渡辺勇さん(小中浦出身)から二万円。 兵庫県尼崎市長浜三丁目一八―一八にお住いの吉本保さん(小中浦出身)から一万円。 茨城県稲敷郡牛久町刈谷三―一八九にお住いの上野浩さん(河内出身)から一万円。

それそれ広報編集費用にと、寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。この健康と、活躍をお祈り申し上げます。

甘やか君



町人権擁護推進協議会が募集していた人権作品の表彰式が十一月九日町民会館で行われ、作文で町長賞に選ばれた末光由美さん(町見中)ら百四十人が表彰されました。今年、町内八つの小中学校から作文、標語など七部門に四百二十一点の応募がありました。町人権擁護委員の小川さん八人が審査にあたり、入賞四十点、入選五十八点、佳作四十二点を選びました。それぞれの部門別入賞者は次のとおりです。

- 町長賞
作文 末光由美町見中
標語 橋本真理伊方小
書道 阿部幸広有寿来小
書道(硬筆の部)
伊藤主二伊方小
ポスト
阿部文子有寿来小
吉田貴士二見小
佐竹真弥伊方小
武田喜光伊方中

- 町人権擁護推進協議会長賞
作文 井上由紀伊方小
標記 浪下静九町小
人権擁護委員
伊方部長賞
伊方 井上由紀伊方小
標記 浪下静九町小

- 町議会議長賞
作文 二宮尊子町見中
標記 二宮尊子町見中
書道 水口里代豊之浦小
書道(硬筆の部)
渡辺千穂伊方小
ポスト
窪田真将(有寿来小)
畑山亮介九町小
竹内まや豊之浦小
野尾島子町見中

- 町教育委員賞
作文 宮本卓人伊方中
標記 小島陽子二見小
書道 池田真貴子二見小
書道(硬筆の部)
佐竹久美伊方小
ポスト
白石由香里伊方小
明神ほな伊方小
泉 喜章豊之浦小
脇田保子町見中

- 【お礼】
河野吉一(豊之浦)新
三根生雪(奥)新
堀内三和(向)再
堀田忠剛(畑)再
山下マサコ(田之浦)新
山下木重貴(吉屋敷)再
二宮都子(大)成再
鳥津増子(鳥)津再

人権作品で小中学生を表彰

末光さんらに町長賞

- 書道 山口公子水ヶ浦小
書道(硬筆の部)
城岡 聡九町小
ポスト
菊池有基水ヶ浦小
須賀中ゆかり
須賀中ゆかり
渡辺 薫伊方中
町教育委員賞
作文 宮本卓人伊方中
標記 小島陽子二見小
書道 池田真貴子二見小
書道(硬筆の部)
佐竹久美伊方小
ポスト
白石由香里伊方小
明神ほな伊方小
泉 喜章豊之浦小
脇田保子町見中

民生委員さん決まる

任期満了に伴う町民生委員の改選が行われ、十一月十日付で次の二十五人が選ばれました。この二、三カ年、地域の福祉活動にご尽力いただきました。

町内の交通事故

十二月二十一日から一月十日まで、年末年始の交通安全県民運動が行われます。特にこの時期には、お正月を郷里で過ごすマイカーが増えます。都内の道には慣れていても、道幅が狭くカーブの多い道路の運転は苦手なものです。無事故で年末、笑顔で年始を迎えられるよう交通安全に努めましょう。伊方・町見駐在所

人 8,694人 (男4,188人(+2人) (+7人) 女4,506人(+5人))
えんむすび
昭和58年11月1日
11月30日

水道管の冬じたく
水道管の冬じたく。水道の冬じたく。水が凍ると、水道管が破裂したり、水漏れがひどくなったりします。冬になると、水道管が凍る場合があります。冬になると、水道管が凍る場合があります。冬になると、水道管が凍る場合があります。

お誕生おめでとう
よい子に育ってください
おくやみ
昭和58年11月1日
11月30日
昭和58年11月1日
11月30日
保護者 続柄 児名